

## (1) ②様式第1号—2 (計画書)

※A4判、2頁を超えない(両面印刷1枚)、縦方向、横書き、11ポイントで作成してください。

※「1案件概要」は機構ウェブサイト (<http://www.nits.go.jp/education/nitscafe/>) で公開します。

### 教職大学院と教育委員会の連携・協働支援事業 (NITS カフェ) (第2回申請)

#### 1 案件概要

- (1) セミナー名:【NITS カフェ in 岡山】  
主タイトル: 学校保健の視点で捉える危機管理  
副タイトル: 危機管理実践から学ぶ PDCとAの往還  
本セミナーは、岡山県教育委員会及び岡山市教育委員会との連携協定に基づき、岡山大学教職大学院ラーニングポイント制の対象となる学修プログラムの一部として開催する。
- (2) 開催日時: 平成30年9月22日(土)及び平成30年11月10日(土)
- (3) 開催場所  
施設の名称: 岡山大学教育学部  
住所: 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1
- (4) 参加予定人数と参加者の属性  
一般の養護教諭、教諭 30名程度  
岡山大学教職大学院院生・学部生、岡山大学教育学部附属学校園養護教諭、  
教諭 10名程度
- (5) 登壇者(講義・演習ファシリテーター)  
岡山大学教授 宮本香代子、伊藤武彦、三村由香里、松枝睦美  
岡山大学准教授 上村弘子、棟方百熊  
岡山大学講師 津島愛子、山内愛
- (6) テーマ:  
・リスクマネジメントの多角的分析の実際を事例展開から学ぶ  
・対処法の企画と、評価の実際、評価を次の実践にいかす  
・取組みと課題を共有し理解を深めることで、学校経営にいかす
- (7) テーマの詳細などの企画概要  
・1回目(9月22日)は、学校現場で起こりうる状況設定・限られた資源の活用による机上シミュレーション訓練で判断力と対応力、連携の方法について、講義とワークにより手法と評価法の理解を深める。  
・参加者は1回目終了後、2回目(11月10日)にむけた課題として、リスクマネジメントの実践や計画に取り組み、提出する。この課題は、実践の振り返りと分析の視点に役立つ。  
・提出された課題から、2回目のセミナーでそれぞれの実践によるPDCとAの往還の理解を深め、活用する力量を高める。
- (8) 進行プログラムの概要  
【時間】12時間(1日6時間)  
【内容】グループにわかれた事例討論、講義、課題分析発表  
<平成30年9月22日>  
① 3事例(不審者侵入、感染症、災害)のテーマにグループ別にワークを実施する。  
(各グループにファシリテーター1名)  
② 分析に役立つ理論や考え方の講義  
<平成30年11月10日に向けた準備>  
③ リスクマネジメントについて、学校全体で対応した実践、または学校全体で対応する計画(予定・マニュアル)を指定の様式にまとめ、セミナー実施事務局にメールの添付ファイルで事前に提出する  
<平成30年11月10日>  
④ 討論に必要な理論や考え方の講義  
⑤ 参加者から提出された実践または計画をもとに、発表・討論を行う。  
(各グループにファシリテーター1名)  
⑥ 参加者との意見交換・まとめ
- (9) 研修プログラムの評価・改善  
参加者にアンケートをとることで研修プログラムの効果を把握する。